

## 「地域づくりセミナー2023」開催レポート

2023年11月15日／会場：新潟日報メディアシップ(新潟)参加者25名

2023年11月30日／会場：ホテルハイマート(直江津)参加者28名

2023年度NPO等地域活動助成事業に採択された団体の役職員の皆さんを対象に、「地域づくりセミナー2023」を新潟・上越の2会場で開催しました。2部形式で行い、第1部では、助成団体からの事業の中間報告を受け、選考委員および参加者が様々な質問やアドバイスをを行い、相互理解をすすめました。また、第2部では団体の課題や悩みを解決するため、会場参加者全員が協議に加わる「地域円卓会議」の方式で、全体討論を行いました

11月15日(新潟会場)

話題提供者

中川 亨(新潟ろうきん福祉財団)

進行

富澤佳恵(新潟ろうきん福祉財団)

記録担当者

中村 華子氏(NPO法人みらいずworks)

テーブルメンバー:(氏名五十音順)

助成団体

江口 和雅氏(NPO法人ジョガボーラ柏崎)

里村 英子氏(NPO法人女のスペース・にいがた)

鈴木 美奈子氏(むらかみ地域医療サポートセンターはぐ)

久田 竜平氏(NPO法人あそびそだちiLabo)

選考委員

五十嵐 実 氏

井村 好宏 氏

大滝 聡 氏

蒲木 みゆき氏

## 2023年度NPO等地域活動団体助成事業 中間報告会

2023年度採択20団体のうち、新潟会場4団体、上越会場4団体の合計8団体から中間報告を行っていただきました。報告後、会場の選考委員および参加者から質疑応答の時間を設けたことで、気づきと学びが深まる時間となりました。



### 【新潟会場】

#### ◆特定非営利活動法人あそびそだちiLabo(柏崎市)

設立当初のミッションビジョンを再構築することと中期計画策定のため、役職員によるミーティングを行ってきた途中経過を報告いただき、選考委員から後半に向けた具体的スケジュールを確認される場面もありました。また、求人の広報力強化は、新卒・既卒向けから、高校生・大学生向けの有償インターンに変更して、募集することになり、1名の採用に繋がったという成果も報告されました。

#### ◆特定非営利活動法人女のスペース・にいがた(新潟市)

DVD被害者や若い人へのセーフティネット強化支援を充実させるため、ホームページの改修とX(Twitter)による定期的発信等の役職員研修を行うという申請事業について、相談件数の増加により、役職員が多忙でミーティングの時間が取りにくく大幅に遅れているという報告がありました。また、会場参加者から、日ごろの相談事業に関してLGBTQに対する対応について質問がありました。

#### ◆特定非営利活動法人ジョガボーラ柏崎(柏崎市)

新規自主事業構築のため、まずは既存事業の課題を把握することとし、保護者や子供、運営メンバーといった全ての対象者に対してアンケートやワークショップを開催した旨の報告がありました。また、新規ウェブサイトクラウドファンディング機能をつけるための途中経過も発表されました。選考委員から、学校のクラブ活動の地域移行が話題となる中で、当該団体への期待が述べられました。

#### ◆むらかみ地域医療サポートセンターはぐ(村上市)

中期ビジョン策定に向けたワークショップ開催の途中経過およびつながりづくり交流会の開催報告が行われました。その交流会後に医療関係者から研修会講師の依頼があり連携による具体的な成果があった旨の報告もありました。会場参加者からは、活動のそもそものきっかけや原動力は何か、といった質問も寄せられました。

《次ページへ続く...》

## 地域円卓会議「NPOが事業を継続していくために必要なこと～新潟県の地域づくりを進めるために～」

はじめに、主催者である当財団の中川専務理事より「NPOが事業を継続していくために必要なこと」として、参加者にむけて話題提供を行いました。このうち3つの問題提起を「団体にとって3つの不足しているもの」として、「お金」「人材」「計画」ではないかと投げかけました。その後、富澤地域共生推進室長の進行により進められ、参加者全員で3人1グループになり、自己紹介を行いました。続いて、テーブルメンバーよりそれぞれが感じている課題とその解決策をお話いただきました。最後にテーブルメンバーも、3人1グループの中にそれぞれ入ってもらい感想や意見を話し合ってもらいました。

今回、新潟、上越ともに会場内で、グラフィックレコーディングを用意しました。それを改めて眺めてみると、同じ内容でも、参加者によって興味深い話題となるところが、地域円卓会議のユニークなところであると感じられました。



地域円卓会議でのグラフィックレコーディング



《次ページへ続く...》

## 地域円卓会議でのグラフィックレコーディング

**課題を解決するための解決策は？**

**人員不足**  
● ひとりに仕事を集中させない  
● 行政の依頼事務も多い

**複業**  
● 何が要因で大変かを探る

**計画**  
● 団体を一言で表すか?

**仲間づくり**  
● 視野広く

**全体がどう動いている?**  
● ニーズとマッチング

**外でのつながりをつくる**  
● 自分にない知恵おぎない合う

**やらねばならぬ...**  
● 助けを求めつよがらない

**地域にこんなサービス提供できる?**  
● やらないこときめる

in新潟  
地域づくりセミナー2023  
地域円卓会議

**どんな話し合いがされましたか？**

**新しいこと今できること**  
● 寄付箱設置  
● ロックス販売

**地域への応援**  
● 息子のデイサービスつくりたい  
● 講演会へ

**対話から人と人のつながり**

**「未来を考えた会」**  
● 課題どんなのあったら？  
● 現状を知られた!

**人どう集める? 呼びかけ方 複業どうよ?**  
● 行政? 誰がやる?  
● NPOの意識高い人あつまる?

**思いは大事**  
● 寄付はお金だけじゃない!

**お金 寄付の幅**  
● キャリア 深算

**考え方**

**場**

in新潟  
地域づくりセミナー2023  
地域円卓会議

## 【上越会場】

11月30日(上越会場)

話題提供者

中川 亨(新潟ろうきん福祉財団)  
進行  
富澤佳恵(新潟ろうきん福祉財団)  
記録担当者  
中村 華子氏(NPO法人みらいず works)

テーブルメンバー:(氏名五十音順)

助成団体

池田 七葉氏(NPO法人すいみい)  
小菅 江美氏(NPO法人緑とくらしの学校)  
小見 まい子氏(NPO法人みらいず works)  
高橋 愛氏(NPO法人十いろ)  
選考委員  
阿部 義暁 氏  
金子 知也 氏  
三浦 絵里 氏

### ◆特定非営利活動法人すいみい(糸魚川市)

地域内外の人々が集える場所として、商店街に存在する大正時代の置屋をリノベーションし、カフェhugを開始したが、さらに過ごしやすい空間とするため床造工事の整備を行いました。選考委員から、延べ利用人数や来場者の属性、また具体的に市民からの利用方法などについて質問がありました。

### ◆特定非営利活動十いろ(十日町市)

成年後見相談件数の大幅な増加を受け、クライアントの管理などの業務をIT化し、業務効率の向上とペーパーレス化に取り組んでいる経過を報告いただきました。スケジュールの大幅な遅れは、予定していた人員体制の欠員および個人情報保護の観点からのセキュリティ強化に伴う変更であることなど丁寧な説明がありました。

### ◆特定非営利活動法人緑とくらしの学校(上越市)

認可外保育施設と認定こども園を運営しており、その敷地内に持続可能なエネルギーを循環させることを目的に、薪ストーブ、太陽光パネル、風力発電装置、コンポストトイレの設置、排水の浄化水路の設置を行っている様子を画像とともに報告いただきました。各種資材の設置にかかる事前準備に不十分があったことから、大幅な遅れと変更が生じたため、エネルギー計測数値は事業完了時に報告したい旨、説明がありました。

### ◆特定非営利活動法人みらいず works(新潟市)

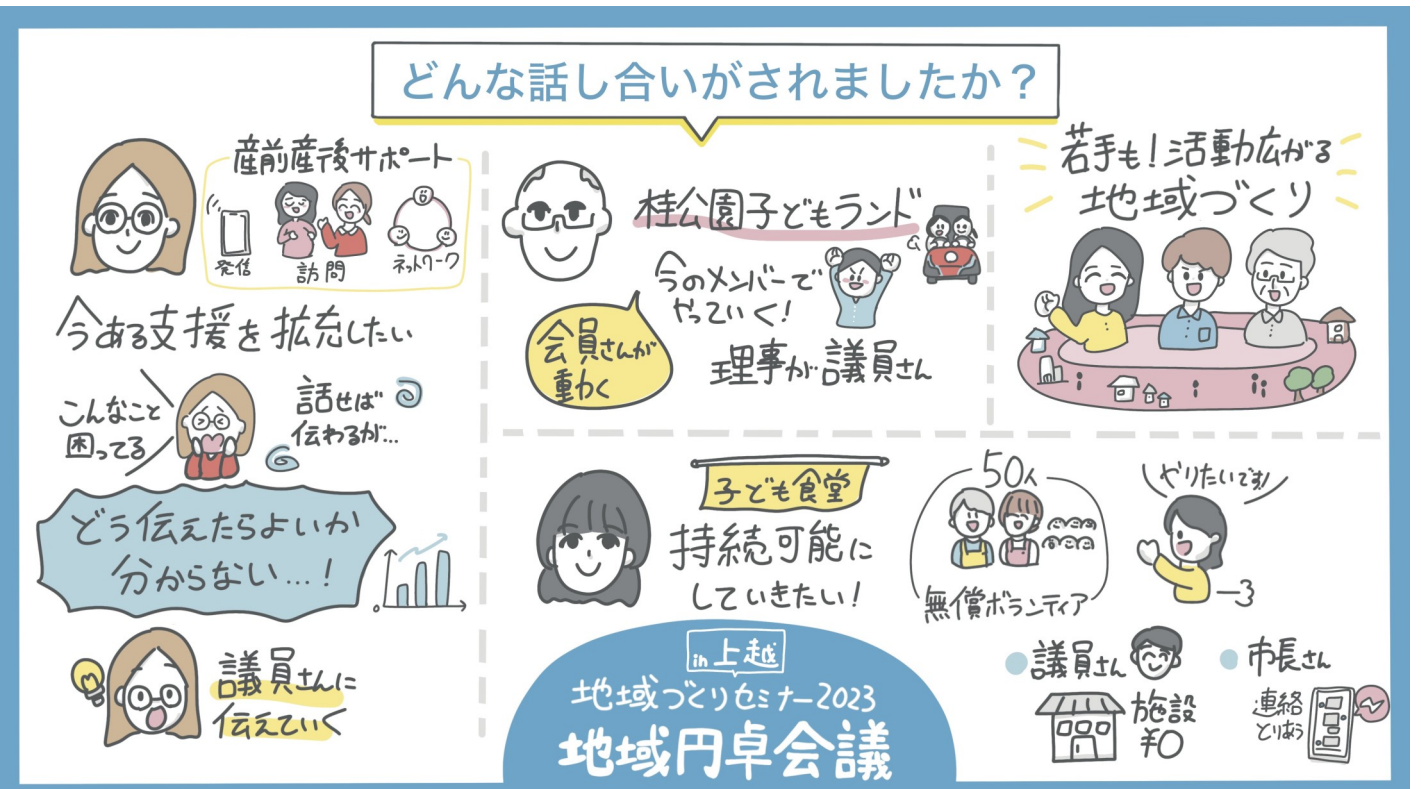
オンラインによる保護者との対話会をこれまで6回開催したが参加者が伸び悩んでいることや、対面で企業に訪問してのセミナーの開催も苦戦していることが報告されました。一方、小中学校の子を持つ保護者を対象とした勉強会については、各地域のPTAからの依頼があり順調に開催しているという成果も説明いただきました。同法人の事務所は新潟市内ではあるもの県内全域で活動しており、妙高から参加していたNPOからも本助成事業をきっかけに具体的なつながりが生まれた旨のエピソードが報告されました。

## 地域円卓会議でのグラフィックレコーディング



《次ページへ続く...》

## 地域円卓会議でのグラフィックレコーディング



## 参加者アンケートから見たこと

今回、はじめて「地域づくりセミナー」で参加者アンケートをお願いし、当財団として本セミナーがどのように有益だったのかを数値化することにし、新潟、上越会場ともに「満足5」が90%を超えました。「特に、地域円卓会議」については次のような具体的な意見も多くいただきました。

- ・みんなで色々な考えを出し合い話すことで考えるきっかけができてとても良かった。
- ・なかなか他団体と交流することがないので、ありがたかった。
- ・“課題”の再認識。組織のあり方、問題、課題等は共通であると思った。
- ・「自分たちの価値観の外からいろんなアイデアをもらえた。
- ・共感できる仲間たちと情報交換でき、大変有意義や時間をすごせました
- ・悩みを共有できたこと、又、私たちの経験が役に立ったこと。



「地域円卓会議」は、社会の困りごとを解決するために、地域の担い手同士が立場や分野を超えて対話できる関係性をはぐくみ、様々な課題解決のアイデアを出し合って実行に繋げていく手法です。新潟、上越の両会場で、終了後もあちこちで意見交換が続く姿が見受けられました。活動分野や地域が異なっても、参加者同士が対話し、今後の活動に活かされていくことを期待しています。

(以上)



(公財)新潟ろうきん福祉財団  
新潟市中央区新光町6番地2  
勤労福祉会館4階